

## 焼きマシュマロ

竹のくしにマシュマロを刺して、おき火で焼くだけで、おいしい焼きマシュマロができあがります。外はカリカリ、中はフワフワで、とても同じマシュマロとは思えません。野外炊事後のおき火を使ってでもできます。

(マシュマロ1袋20個入り)



対象	3歳以上	実施時期	通年
持ち物	食器・軍手（綿100% 化繊は熱で溶けます）・洗剤・スポンジ・マッチ・新聞紙・ふきん（班に2枚）・服装は長袖・長ズボン		

### ねらい

- ・道具の扱いや火の扱い方について学習・習得する。
- ・自然の中で料理して食べることの喜びを知る。

### 実施の流れ

#### 打ち合わせ・説明

- ◆開始 15 分前に、本所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
- ◆説明は本所職員が行います。

## 以降は、各団体が中心となり進行してください

#### 準備（1グループ 5～10人程度）

- ① 各班ごとに材料を受け取り、用具を借ります。かまどや使用テーブルを確認し、荷物を置きます。
- ② 使用テーブルを台ふきんで拭きます。
- ③ 調理に入る前に手を洗います。
- ④ 炊事用具は塩素消毒してあるので、全て軽く水洗いします。

#### 導入

- ① 動機づけ
- ② 安全上の注意（下記「留意点」参照）

#### 実施

- ① 炭をあらかじめおこしておきます。
- ② 竹ぐしをアルコールで消毒します。
- ③ 竹ぐしの先にマシュマロを刺します。
- ④ 炭に近づけすぎないようにし、竹ぐしを回しながらうすく茶色に色づくくらいこんがり焼きます。

#### 片付け

- ① ゴミを分別し、ゴミ置き場へ持っていきます。
- ② 道具を洗い、返却します。
- ③ かまどの灰の掃除をします。
- ④ 職員による点検を受けます。

#### まとめ

- ・ふりかえり

## 留意点

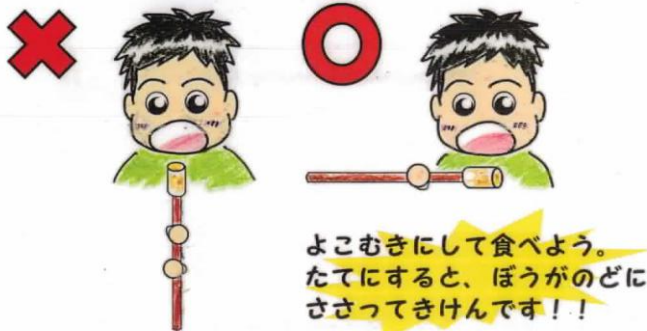
- ① 薪を運ぶときは軍手をはめ、とげが刺さらないように注意しましょう。
- ② 火を扱う際は必ず軍手をし、長袖・長ズボン・帽子を着用しましょう。なお、長袖長ズボン着用は熱中症に繋がる可能性もあります。その為、団体指導者が体験者の様子を観察して、適宜、服装を調節させ、熱中症を防ぐようにしてください
- ③ 軍手は綿製の物にし、滑り止めつきの物は左右逆（滑り止めを手の甲側）にして使用しましょう（溶けたゴムによる火傷の防止）。
- ④ なべ、飯盒、鉄板を持つときは、軍手の上に皮手袋をしましょう。（用具と一緒にお渡しします）
- ⑤ 炊事場周辺では絶対に走らせないようにしてください（火の事故防止）。
- ⑥ 後片付けを、しっかりしましょう。使用した用具や場所はきれいにもとに戻しましょう。

## マシュマロの焼き方

☆炎がでていないおき火がオススメ



## マシュマロの食べ方



マシュマロは熱くなります。マシュマロの近くの竹ぐしも熱くなります。やけどをしないように気をつけましょう。